京都大学 益川ホール AVシステム取扱説明書

1. システム起動

1-1. 操作卓にある≪システム電源≫スイッチを【ON】します。



1-2. タッチパネルモニターに操作画面が表示されます。



1-3. プロジェクターの起動について

①プロジェクターに映し出したいソースを選択します。



※スクリーンが降り、プロジェクターのランプが "ON"します。 ●プロジェクター、Web会議PCへの配信映像を個別に選択できます。 AV、マイクの音量調整、カメラコントロールができます。

【映像選択画面】









システムラック

3. 講義をWeb会議PCを使用して配信する場合

◆Web会議PCの接続について

【Zoom】に接続するパソコンを、操作卓にあるHDMIケーブル、USBケーブルと接続します。



※ケーブルを接続後、デバイスの設定を以下のように設定してください。

オーディオ デバイス		
カスタム セットアップ	``	\sim
スピーカー		
MSD-702 (インテル(R) ディスプレイ用オーディオ)		【スピーカー】: MSD-702 ▼
717		
AUDIO IN (Roland UVC-01)	· · ·	【マイク】: Roland UVC-01 ~
🕒 テスト通話を開始		
ノイズ抑制 ()		
他の人が音楽を聞くことができるようにする場合は、[低] を 選びます。	詳細情報をご確認く い。	くださ
自動 (既定)	``	\sim
セカンダリ呼び出し		
なし	`	\sim
לאל		【カメラ】: Roland UVC-01
Roland UVC-01		\sim

3. 講義をWeb会議PCを使用して配信する場合

◆タッチ画面の映像選択について

持込Web会議PCの映像をプロジェクター映し出す場合は、タッチ画面の【Web会議PC】 を選択します。



◆外部入力の接続について

ZoomなどのWeb配信を行わない講義の時に、持ち込んだパソコンを、プロジェクターに 映し出す場合。

操作卓にある、【外部入力HDMI】、もしくは【外部入力VGA】と明記してあるケーブルを 持ち込みパソコンに接続してください。



◆タッチ画面の映像選択と、音量調整について

持ち込みパソコンの映像をプロジェクター映し出す場合は、タッチ画面の【HDMI入力】 もしくは、【RGB入力】を選択します。



5. ブルーレイプレーヤーについて

◆メディアのセットについて

バックヤードにある、ブルーレイプレーヤーの【取り出し】ボタンを押し、メディアをセット してください。



◆タッチ画面の映像選択と、操作について

ブルーレイプレーヤーの映像を映し出す場合は、タッチ画面の【ブルーレイ】を選択します。



6. テレビについて

◆操作について

バックヤードにある、ブルーレイレコーダーの専用リモコンを操作して、テレビを視聴する ことができます。



◆タッチ画面の映像選択と、音量調整について

モード 京都大学 KYOTO UNIVERSITY 映像選択 プロジェクター 5 0 0 P. . ÍOÌ Web会議P HDMI入力 RGB入力 ブルーレ・ テレヒ 先生カメラ Web会議映像 5 0, 0 先生カメラ HDMI入力 RGB入力 ブル カメラ操作 音量調整 早い ズーム操作 フォーカス操作 遅い テレビの音量を調整 + _ AV音量 小 ()) ᄎ ● 消音 + します。 プリセット移動 登録 モード 1 г з マイク音量 小 🌒 大 ● 消音

テレビの映像を映し出す場合は、タッチ画面の【テレビ】を選択します。

7. マイクについて

●使用できるマイクは、ワイヤレスマイク4本と有線マイクです。 有線マイクの接続パネルは、上手、下手の壁面と、ステージ床にあります。

ワイヤレスマイク





◆音量調整について



8. 録音について

●バックヤードのシステムラック内にある、レコーダー(SS-R200)で講義音声を録音 することができます。



◆USBメモリーに記録する場合

①本体前面のUSB端子にUSBメモリーを接続します。
⇒USBメモリー内の情報を読み込むのにしばらく時間がかかります。
USBメモリーのフォーマットが必要な場合があります。
フォーマットの方法は、SS-R200本体の取扱説明書をご覧ください。

②本体のRECORDボタンを押して、録音待機状態にします。 ⇒本体のRECORDボタンとREADYボタンが点灯します。

③PLAYボタンを押します。 ⇒録音が始まります。

④録音を停止するには、STOPボタンを押します。
⇒録音を止めると、録音情報の書き込みが行われ、オーディオファイルが作成されます。

この間、"INFORMATION WRITING"が表示されます。 この間は、電源を切ったり、デバイスを取り出したりしないでください。 録音内容が正しく記録できなくなります。

※詳しいレコーダーの操作については、SS-R200本体の取扱説明書をご覧ください。

9. 部屋環境について

●モードで【部屋環境】ボタンを選択すると、プロジェクター、スクリーンを個別に操作できる 画面が表示されます。



映像を物理的にMuteすることができます。

10. システム終了

1 O-1. 操作卓にある≪システム電源≫スイッチを【OFF】します。



【システム電源】



※システム電源を切ると、操作卓機器、 バックヤード システムラック機器、 プロジェクターの電源が切れ、スクリーン が昇がります。